

# 小白川キャンパス 地域教育文化学部説明会

## 日 時

平成 29 年 8 月 11 日（金） 9：00～16：30（受付：8：30～）

## プログラム

※教室は変更の可能性あり。

■全体説明 同じ内容を3回行います。

【午前1回目】9:00～9:30

教室等：基盤教育2号館2階221教室

【午前2回目】9:15～9:45

教室等：基盤教育2号館2階222教室

【午後】13:15～13:45

教室等：基盤教育2号館2階222教室

◎学部の概要・当日のスケジュール・プログラム等を説明します。

■養護教諭特別別科説明

【時間】13:50～15:10

教室等：基盤教育2号館1階213教室

内 容：別科の概要説明及び質疑応答。

※ 本別科は1年課程の養護教諭（保健室の先生）養成機関です。看護師の免許を受けている人が教育学や心理学そして学校保健関連の単位を修得することによって、養護教諭一種免許状を取得できる一年の課程です。

■体験学習等

【午前】10:30～11:45 【午後】14:30～15:45

◎体験学習・質疑応答等を行います。体験学習の詳細については、「体験学習内容一覧」をご覧ください。

体験学習に参加希望の方は、事前申込みをお願いします。

※体験学習によっては参加に制限を設けさせていただく場合があります

■教員との質問・相談コーナー

【1回目】11:50～13:00 【2回目】15:30～16:30

教室等：〈児童教育コース〉基盤教育1号館2階127教室

〈文化創生コース〉基盤教育1号館2階128教室

◎教員が、学部・コース・その他（入試、授業、就職等）に関する質問や相談にお答えします。

■学生との相談コーナー

【1回目】11:00～13:30 【2回目】14:30～16:30

教室等：〈児童教育コース〉基盤教育1号館2階医・工・農共同利用室

〈文化創生コース〉基盤教育1号館2階126教室

◎在校生が、学生生活全般に関する相談にお答えします。

■学生作品展示

9:00～16:30

場所：地域教育文化学部1号館1階エントランスギャラリー

## 体験学習内容一覧

### ■児童教育コース

#### ①『どのようにしたら、英語を身につけることができる?～小学校で英語を教えるにあたって、大事なこと～』

(講義) 金子淳

【午前】10:30～11:45 教室等：基盤教育2号館2階221教室

みなさんは、英語ができるようになりたいなあ、と思ったことがありますか?どのようにしたら英語を身につけることができるのでしょうか。最新の研究成果から、お話をしていきたいと思います。そして、小学校で英語を教えるにあたって、大事なことは何なのか、一緒に考えていきましょう。

#### ②『大学で学ぶ特別支援教育の世界 ～教育と科学のコラボレーション～』(講義) 大村一史

【午前】10:30～11:45 教室等：基盤教育2号館1階213教室

大学生になってはじめて学ぶことができる学問分野の一つが特別支援教育です。特別支援教育へは、教育方面からだけでなく、実は様々な分野からの多角的なアプローチが可能です。まず、本コースでは、特別支援教育について、どのようなことが学べて、将来どのように活躍することができるのかをお話しします。つぎに、私の研究室で取り組んでいる研究を紹介します。近年、特別支援教育が対象とする障害の理解と支援に、脳研究を始めとする先端科学の最新の知見が積極的に生かされています。先端科学をベースとした実験室で行われる研究がどのように教室における特別支援教育に関わっていくことができるのかを実例等を織り交ぜながらお話しします。

#### ③『「論証(argument)」-小学校教師として知っておいてほしいこと-』(演習) 江間史明

【午後】14:30～15:45 教室等：地域教育文化学部3号館2階321教室

小学校では、子どもたちにコミュニケーションの指導をします。たとえば、低学年での「話形指導」があります。発表する時に、「～です。なぜなら～だからです」という発言のフォームを教えます。ここでは、「根拠」と「理由」を区別して教えていません。このことは、各教科や領域の学習活動に影響を与えます。論証の形式としてもっとも安定したフォームに「ディベート」があります。この体験授業では、初歩的な「ディベート」を体験することを通して、明晰なコミュニケーションの論理とそれを小学校教師が教える必要性について考えていきたいと思います。

### ■文化創生コース

#### ①『人体の仕組みを理解して栄養学の進歩へと繋げる』(講義) 鈴木拓史

【午前】10:30～11:45 教室等：地域教育文化学部1号館3階133演習室

人間の身体を作り上げるのは、日々摂取している栄養素である。その栄養素のはたらきについて追及した学問が「栄養学」である。本講義では、栄養学の歴史的背景や5大栄養素の概要について説明する。その後、栄養素を体内に取り込むための要となる消化管の機能について、近年の研究成果と共に説明・紹介する。

#### ②『日本人の食生活の現状』(講義) 矢口友理

【午後】14:30～15:45 教室等：地域教育文化学部1号館3階133演習室

現在の日本における食生活の良い点・問題点を国民健康・栄養調査や栄養疫学研究によって得られたデータから解説します。巷にあふれる健康情報が正しいと考えてよいかどうかを判断する鍵の一つが、ヒトを対象とした疫学研究であるか否かなのです。

#### ③『高校生のための心理学入門』(講義・一部演習) 佐藤宏平

【午前】10:30～11:45 教室等：基盤教育2号館2階222教室

下記の内容について、演習も取り入れながら、楽しく学びます。

・心理学とは・さまざまな心理学・錯視・可聴範囲と年齢・短期記憶・野生児について・心理学と職業(資格を含む)

④『続・高校生のための心理学入門—臨床心理学体験講座—』（講義・演習）関口雄一

【午後】14:30～15:45 教室等：基盤教育2号館2階222教室

臨床心理学の定義、心理臨床の実践領域（教育、司法、医療、福祉）で扱われる問題（不登校、いじめ、非行、家族の問題、精神障害等）、心理的問題へのアプローチ方法としての心理療法についての講義を中心に行う。また、講義の中で心理療法をいくつか紹介する際に、心理療法の体験を小グループ（2～3名）の演習形式で行う。演習の内容には、子どもの心理療法であるスクイグルを行う予定である。なお、スクイグルは心理療法の中でも子どもを対象にした表現療法として用いられるものである。スクイグルの具体的な手続きは、一人がなぐり描きした線画をもとに、もう一人が想像を膨らませ、線を書き足していくというものである。活動自体は、2者間の交流を深めるという機能が主であり、参加する高校生の心的外傷にいたずらに触れたり、内省を促したりするようなことはないため、十分に安全な活動であると考えられる。体験後には、各グループに感想を求める。

⑤『造形のアトリエをのぞいてみよう！～アトリエ見学体験ツアー～』（講義）小林俊介・土井敬真

【午前】10:30～11:45 【午後】14:30～15:45

教室等：地域教育文化学部1号館3階132演習室（集合場所）、絵画アトリエ、工芸アトリエ、  
デザインアトリエ、版画アトリエ  
1階木彫・塑造アトリエ

絵画・彫刻・工芸といった造形のアトリエを見学・体験するツアーです。

大学の授業ではどのような課題作品をどのようなアトリエで制作しているのかを、それぞれのアトリエに足を運び、作品の展示・解説、実際の制作の様子を見学頂きながら紹介いたします。見学だけでなく、各アトリエで実際に素材に触れたり、制作過程の一部を体験して頂くことができます。

⑥『合唱を楽しもう』（演習）渡辺修身

【午前】10:30～11:45 教室等：地域教育文化学部1号館1階文化ホール

混声四部合唱を参加高校生と補助の大学生と一緒に歌い、大学の合唱の授業を体験する。

発声法、呼吸法の基礎的な部分をはじめ、曲の解釈、演奏法について学び、実践的な授業を受けます。

⑦『ソルフェージュ』（演習）名倉明子

【午後】14:30～15:45 教室等：地域教育文化学部1号館1階文化ホール

リズム付きの視唱課題を配布し、実際に歌ってみます。

実施するときのポイントなどを説明し、余裕があれば移調、移旋などにも挑戦します。

⑧『ビデオカメラの映像を用いたスポーツ動作の分析』（講義）井上功一郎

【午前】10:30～11:45 【午後】14:30～15:45 教室等：地域教育文化学部1号館2階会議室

運動やスポーツの実践場面では、ビデオカメラで選手の動きを記録し、評価や指導に用いる場面がしばしば見られます。また本講義では、スロー映像の仕組みなどを簡単に紹介し、ビデオカメラで撮影した映像を用いてスポーツの動作を科学的に分析する方法について解説します。また、受講者（代表者数名）が実際に運動する様子を撮影し、動作分析の実演を行います。